



2008年 第23回 テーザー級全日本選手権大会

テーザー和歌山プレワールド大会

実施要項

開催期日	2008年9月13日(土)~9月14日(日)	
開催地	和歌山セーリングセンター	
共同主催 ^[A1]	日本テーザー協会・和歌山県セーリング連盟・NPO和歌山セーリングクラブ	
公認	(財)日本セーリング連盟(承認番号:H20-28 ^[A6])	
後援	和歌山県セーリング連盟・NPO和歌山セーリングクラブ	
協力	奈良県セーリング連盟・テーザー芦屋フリート・テーザー大阪北港フリート・ テーザー琵琶湖フリート	
大会役員 ^[A2]	大会名誉会長	山下大輔(和歌山県セーリング連盟会長)
	大会会長	本吉譲治(日本テーザー協会・会長)
	レース委員長	鈴木國央(和歌山セーリングクラブ代表)
	レースオフィサー	石崎五一郎(奈良県セーリング連盟理事)
	プロテスト委員長	細川義明(京都府セーリング連盟常任理事)
	大会実行委員長	高山 勝(日本テーザー協会・副会長)
	計測委員長	宮下知之(日本テーザー協会・計測委員長)
	広報委員長 ^[A9]	石丸寿美子(日本テーザー協会・広報理事)
	陸上本部長	石崎五一郎(奈良県セーリング連盟理事)

目次

改訂来歴.....	2
レース公示.....	3
会場案内図.....	7
THE 23TH TASAR JAPAN CHAMPIONSHIP WAKAYAMA 事前計測ガイド.....	8
TASAR MEASUREMENT CHECKLIST - WAKAYAMA 2008	12
宿舎・観光案内.....	13

改訂来歴

Rev.	訂正日	訂正ページ	訂正番号	記事
R0				
R1	2008/08/28	P1	A1	共同主催者として和歌山セーリング連盟、NPO 和歌山セーリングクラブを追加
			A2	大会役員を追加
		P3	A3	「JSAF の会員」 → 「ISAF の各国協会(JSAF など)の会員」
		P4	A4	「レガッタ開始まで」 → 「受付終了まで」
		P5	A5	「白色旗」 → 「緑色旗」
	2008/09/04	P1	A6	日本セーリング連盟承認番号を追加
R2	2008/09/08	P5	A7	日程より「和歌山ワールド実行委員会会議」を削除
		P5	A8	日程より「テザー協会総会」開始時刻を「17:30」→「17:15」へ変更
		P1	A9	「広報報委員長」 → 「広報委員長」
		P3	A10	「東京三菱 UFJ 銀行」 → 「三菱東京 UFJ 銀行」

レース公示

1. 規則

- 1.1. 本レガッタには「セーリング競技規則」に定義された規則を適用する。
- 1.2. 日本セーリング連盟規程 5 は適用しない。
- 1.3. 競技規則 付則 G3 を次のとおりに変更し適用する。
G3 チャーターまたは貸与した艇
レース公示、または帆走指示書に記載している場合、大会の為チャーターした艇または貸与した艇には、クラス規則に違反している国を示す文字やセール番号(他の参加者と重複しない)を付けることができる。
- 1.4. レース公示と帆走指示書の間には矛盾がある場合、帆走指示書を優先する。 また、本文と英文が矛盾する場合には、英文を優先する。
- 1.5. テーザークラスルール補足説明 32 に関し、レース後に航跡データを取り出す目的以外での使用を禁止することを条件に GPS 端末の搭載を認める。 尚、GPS 端末の搭載はレース委員会の許可を要する。

2. 広告

- 2.1. 広告カテゴリーは A である。

3. 参加資格

- 3.1. 本レガッタは、テザークラスのすべての艇が参加できる。 ただし、次の(1)~(3)の要件を全て満たし、3.2 項または 3.3 項に示す申し込みを完了すること。

(1) 乗員は 2008 年度の ISAF の各国協会((財)日本セーリング連盟など)のメンバーであること。

注) 全日本参加には、乗員全員が ISAF の各国協会(JSAF など)の会員^[A3]である必要があります。

http://tasarjapan.org/membership/JSAFregistration_070407.pdf

に従い、9 月 1 日(月)までに加入または更新の手続きされるようにご協力
お願い致します。

・年間登録料： 5,500 円 (有効期間 申込み日~09 年 3 月末まで)

・申し込み先： 日本テザー協会 国内事務局： 亀山寛達

Email : info@tasarjapan.org Fax : 03-3683-7652

・登録料振込先： みずほ銀行 鶴見支店 店番号 362

(普) 1992626 亀山寛達 (カメヤマ ヒロミチ)

(2) 乗員のうち少なくとも 1 名が各国の 2008 年度のテザー協会会員であること。

注) テザー協会加入の手続き、または年会費の納入は、9 月 1 日(月)までに振込みにて手続き
されるようにご協力お願い致します。

振込先： 三菱東京 UFJ 銀行^[A10] 高田馬場駅前支店 (657)

普通口座： 4730210

日本テザー協会 会計 野口優

(ニホンテザーキヨウカイ カイケイ ノグチマサル)

(依頼人名は必ず会員本人のお名前でお振込みください)

(3) 本レガッタの3ヶ月前から受付終了^[A4]までの間に事前計測を行うこと。

注) チェックリストにある計測項目を計測・記入し、スキッパー・クルーがサインをして受付に提出する必要があります。

3.2. 次の(1)~(3)のいずれかの方法で、2008年9月1日(月)までに参加申し込みを完了すること。

(1) 協会公式ホームページ(<http://tasarjapan.org/>)よりオンラインエントリー

(2) 申込用紙の内容をE-mail (nationals-entry@tasarjapan.org)

(3) 申込用紙に必要事項を記入の上、下記申込み先に FAX
芦屋フリース 渡辺 FAX 078-642-3836

3.3. 参加申し込みが遅れた場合には、次の条件で受け付ける。

9月11日(木)まで: 3.2項(2)または(3)の方法で参加申し込みを完了し、レイトエントリーフィーを支払う。

9月13日(土) 9:00 まで: 申込用紙に必要事項を記入のうえ大会本部に提出し、レイトエントリーフィーを支払う。

4. 参加費

(1) 1艇: 20,000円 (2名のレセプションパーティ費用を含む)

2名を超えるレセプションパーティ参加は1名 3,000円を別途支払うこと。

注) 施設利用費は含まれません。詳細は15.1を参照ください。

(2) 参加費は 締切日9月1日までに下記の銀行口座に振込みを完了すること。

振込先: 東京三菱UFJ銀行 高田馬場駅前支店 (657)

普通口座: 4730210

日本テザー協会 会計 野口優

(ニホンテザーキョウカイ カイケイ ノグチマサル)

(依頼人名は必ず セールナンバーと艇長名でお願いします)

(3) レイエントリーの場合は、1艇23,000円。9月13日(土)の受付時に徴収する。

5. 日程

5.1. 登録

登録日 2008年9月13日(土) 8:00 から

2008年9月13日(土) 9:00 まで

5.2. 計測及び検査

計測 2008年9月13日(土) 8:00 から

2008年9月13日(土) 9:00 まで

5.3. レース日程

2008年9月13日(土) 3レース

2008年9月14日(日) 3レース

5.4.

2008年9月13日(土) 最初のレースの予告信号の予定時刻は、10:25である。

2008年9月14日(日) 最初のレースの予告信号の予定時刻は、9:00である。

最終日は14:00以降のスタートはしない。

5.5. その他の日程

2008年9月13日(土)	9:00	開会式・艇長会議
	16:45	和歌山ワールド実行委員会会議^[A7]
	17:30 ^[A8]	17:15 テーザー協会総会
		19:00 レセプションパーティ
2008年9月14日(日)	16:00	閉会式・表彰式

6. 計測

- 6.1. レース委員会より指名を受けた艇には、艇体重量その他の計測が行われることがある。
- 6.2. レース委員会は何時でも再計測を行うことができる。

7. 帆走指示書

和歌山セーリングセンターに9月13日に設置される大会本部で受付時に交付される。

8. 開催場所

〒641-0014 和歌山市毛見 1514
和歌山マリーナシティ内 和歌山セーリングセンター

9. 帆走すべきコース

内角がおよそ 60°の（風上・風下・トライアングルコース）を用いる。回航方法は帆走指示書で示す。

10. レース及び得点方法

- (1) 本大会は2レース以上行われれば成立する。
- (2) 実施されたレースが4レース以下の場合、艇のシリーズの得点は全レースの合計得点とする。

11. 支援艇

- 11.1. レース委員長に許可された艇のみ支援艇として出艇しても良い。
- 11.2. 支援艇は緑色旗^[A5]で識別されなければならない。

12. 無線通信

参加艇及び支援艇はレース中又は海上での無線通信又は傍受を行ってはならない。また、全ての参加艇利用ができない無線通信又は傍受をしてはならない。この規制は、携帯電話にも適用する。

13. 賞

総合 1-6 位 に賞を授与する。また、

- ◆マスタークラス（乗員の合計年齢が 80 歳以上 99 歳以下）
- ◆グランドマスタークラス（乗員の合計年齢が 100 歳以上 119 歳以下）
- ◆スーパーグランドマスタークラス（乗員の合計年齢が 120 歳以上）

上記のそれぞれ 1 位に賞を授与する。これらのクラスは行われた全てのレースにおいてそれぞれの要件を満たした場合に対象となる。該当者がいない場合には賞は省略される。

主催者はこれ以外の賞を設ける場合がある。

14. 免責

競技者は、完全にリスクでレガッタに参加する。規則 4（レースをすることの決定）を参照すること。本大会の主催者、関係団体及びレース委員会は、大会期間中（並びその前後）に生じた物理的障害または個人の身体的障害もしくは死亡に対するいかなる責任も負わない。

15. 追加情報

15.1. 施設利用について

艇の持込には、施設利用費として 1 艇につき 2 日間 1,600 円が必要です。

補足：1 ヶ月間 10,500 円。月初めから月末まで、1 ヶ月間単位でも OK です。

1 ヶ月単位での利用の場合は、事前に和歌山セーリングセンターに直接申込みをお願いします。

和歌山セーリングセンター TEL 073-448-0251 FAX 073-494-3252

<http://www.eonet.ne.jp/~wsc>

なお、和歌山セーリングセンターおよびその近隣には食料・飲料があまり売っていません。事前に購入して持ち込むことをお勧めします。

15.2. 乗員の交替

1 艇あたり 3 名もしくはそれ以上の乗員がレースに参加する場合には、受付時に各レースの乗員をあらかじめレース委員会に登録すること。

15.3. 問い合わせ

テーザー芦屋フリート 渡辺克充

E-mail: ashiya@tasarjapan.org TEL:090-6209-1701

15.4. その他

(1)JSAF 環境キャンペーンの趣旨に則り、陸上、海上にかかわらず、レース参加艇からのゴミ投棄を禁じます。

(2)協会公式ホームページ（<http://tasarjapan.org/>）に、追加情報が掲示されることがあります。

The 23th Tasar Japan Championship Wakayama 事前計測ガイド

今年の全日本選手権も去年に引き続き、事前計測を行います。来年行われる世界選手権もほぼ同じ計測項目で行う予定です。事前計測の目的は2つあります。第1に、レース当日の計測を簡略化することです。全日本でも、世界選手権でも計測に時間をかけず、できるだけ多くのレースを行えるようにしたいと考えています。第2にボートをクラスルールに適合させるのは選手の責任であることを強調することにあります。計測後に手を加えた場合、チェックリストが無効となることがあります。艇の計測をレガッタの前に行うと、その後うっかり手を加えてルールに適合しなくなるというリスクがあるので、オーナーや選手はルールを知って自らの責任を自覚してください。参加選手にはクラスルールを良く理解してもらい、公正で公平なレースを行っていただきたいと思います。

計測項目は大きく2つに別れています。PartAは、全日本選手権の3ヶ月前から全日本選手権までに行なってください。PartBは全日本の当日の受付時に行います。チェックリストにある計測項目を計測、記入し、スキッパー、クルーがサインをして、全日本当日の受付時に提出することで、全日本のエントリーが完了します。計測は、以下にあるJTAが公認した計測委員（各フリートに1~3名います）が行ってください。全日本の3ヶ月以内にあるレースでは、できるだけ計測会を開催する予定です。また、フリートでも計測会を開催しても良いと思います。

JTA 公認計測委員（敬称略）

稲毛フリート	軽部香
葉山フリート	宮下知之（協会メジャー） 岡誠
江ノ島フリート	赤井寛 高橋徹 田口公一
浜名湖フリート	長谷川勝啓
北港フリート	三輪記裕
芦屋フリート	渡辺克充
琵琶湖フリート	長野国比古

チェックリストを埋めてもテザークラスルールに適合しているとは限りません。ウェブ上に掲示されているテザークラスルールに目を通してください。レース実行委員やメジャーは、アドバイスをしたり、計測会を行うなどの補佐をしますが、クラスルールに適合させる責任はありません。事前計測後に艀装の変更や調整をした場合は出場する選手の責任において再計測してください。

レース開催中、レース委員会はレース期間中いつでも計測を行うことがあります。チェックリストの記載内容との相違が判明した場合、“となり、プロテスト委員会へ抗議を実施することがあります。また、他にテザークラスルールへの非適合が認められた場合も同様です。

なお、計測を行う際に使用するメジャーは、JIS1級の「スチール製」または「ステンレス製」を使用し、折れ曲がりや、先端部の欠け・ガタがないことを確認してください。チャーター艇を使用する場合など、事前計測を行うのが難しい選手のために全日本当日受付会場に全計測を行う設備をわずかながら用意しますが、ここで全計測をする艇は参加艇の10%未満であることを望みます。計測を行ったことのない方、やり方がよくわからないという方は、是非積極的に計測会へ参加してください。また、計測に関する質問はいつでも受けます。

2008/6/9 JTA メジャー 宮下 知之 measurer@tasarjapan.org

計測時の注意点

PartA

(1) セイル

ダクロンにしるマイラーにしる、比較的新しいセイル（基準値に近いと考えられる）の上に重ねてみるとよい。セイルナンバーとアルファベットの位置を確かめること。ナンバーとアルファベットは4番バテンの上下に文字の頭から貼ってあること。高さ 300mm で幅 200mm、スペースは約 50mm、セイルの端から 60mm 以内でないこと。

ダクロンセイルのテークアップは、リーチから 150mm 以上のシームの補修、200mm 以上の縫い目がないこと。リペアや、シュラウドによる摩擦に対する補強のための、前述以外の縫い目（針穴を開けること）は認められない。全辺とシームを調べること。

ルールの補足説明 No. 35 と No.36 がマイラーセイルのメインとジブのリーチテープの調整とジブバテンの交換を認めているので、これにしたがったセイルの縫い直しがあることに注意する。レース時は1セット（ジブは2枚まで可）を使用できる。ただしレガッタ期間中のジブの交換にはレース委員会の許可が必要である。

(2) フォイル

1985年当時の図面以降、新しい形はない。通常使われているガラス繊維製のものを使用すること。実質全てこのタイプのフォイルになる。10mm 以上異なる形状である場合、詳細計測を行い不合格とする。摩耗や裂けがある古い木製のフォイルの場合、角をFRPで固めることになるだろう。

(3) ウィスカーポール (2038mm max)

ブレイクとフィッティングを含む全長は 2038mm。素材は合金、木製あるいはFRP。ポールは浮くこと。

(4) フォアステイの計測 (4140 +/- 20mm)

艇の調整によって簡単にこのルールから逸脱してしまうので注意。マイラーセイルには新たなフォアステイの調整機能があるため特に注意すること。調整が及ぼす影響を完全に把握している人でない限り、事前計測後に変更しないこと。トップにシャックルや調整可能な部品を加えるなどのフォアステイの変更を行うと、容易にルールの許容値を超えてしまう。新しいフォアステイはその後の伸びを考慮して 5mm ほど短くしておくこと。

ボートを艀装し横にする。リグの遊びがないように、ステイを引いてテンションをかける。ハウズを前方に向け、ローテーションを中央にする。バウデッキから、ハウズのシャックルピンの下側のベアリングポイント（フォアステーとサイドステーをまとめている大型のシャックルとハウズの接点）までを計測する。

(5) ハウズからデッキまでの計測 (3720mm min)

ボートは横倒しのまま、FRP のフォアデッキからマストステップまでを計測する。ステップそのものではなく、ハウズのシャックルピンのベアリングポイントまで。テンションをかけすぎるとマストがベンドし、この値を小さくしてしまう。そうならない程度、ただしリグの遊びがなくなるようにテンションをかける。新しくスペーサーもしくはステップワッシャーを備えた場合はその摩耗分の差し引きをすることに注意。マストワッシャーの摩耗や裂けはこの計測値を短くする。それゆえレガッタ

のあまりにも前に計測することは避ける。

新しいスペーサーを入れた場合は、その厚みが 6-8mm 程度なので、許容値を 3726-8mm と考え、12 回以上セリング後に再計測する。マストステップのワッシャーの分は 2mm 程度長く見積もっておく。

(6) メインシートストラップの計測 (240mm max)

ストラップのベアリングポイント（シャックルとストラップの接する点）から、ストラップの他端のベアリングポイントまでの距離を計測する。シャックルなどの分は含まない。最低 240mm あること。ストラップはスペクトラなどでもよくブロックの上か下に取り付けること。

(7) シュラウドプルバック (150mm max)

スライドを最前にしてラインを真っ直ぐ伸ばした状態で、金属製のトラックの後部から、ハンドルの結びのベアリングポイントまでを計測する。後退時の最大長さは 150mm。

現在 2:1 滑車のシステムが認められているが、長さの計測方法は変わっていない。

(8) ハウンズからジブトップまでの計測 (ダクロンセールのみ ; 115mm max)

ダクロンセールのみ対象。ジブの最も高い位置からハウズに取り付けるシャックルピンのベアリングポイントまで。調整ラインを新しく結んだ場合は、使用中に数 mm 伸びるがこれを良しとする。

(9) センターボードケースの芯

クラスルール C2.2n, C4.3 柔軟であること、前後に取り付けること、いっばいに詰めないこと、固体ではないこと。ボードが通る部分のサイドのカーペットは上下両側に一つずつ、合計 4 個。

(10) トップマストスティフナー

クラスルール F1.2 通常のオーストラリア製テザーにはトップマストのスティフナーが必要。

(11) ハル重量の計測

クラスルール D.3.1, 3.2 ハル重量は補正重りを積んだ状態で 68Kg 以上なくてはならない。

また、タンクが乾いていること、バックの中が空であることを確認する。スポンジ、飲み物のボトル、シート類は取り外すか持ち上げて計測すること。通常ハルに取り付けてあるもの、コンパス、ハッチカバー、ファーラーなどは付けたままでよい。少しでも濡れている場合は計測しない。湿った艇の計測はオーナーにとってリスクをもたらすだけだ。

ハルウェイトの計測方法

- ・クラスルール D.3.1 記述の状態を確認。
- ・計測場所は風雨の影響を受けにくい場所を選定
- ・秤のキャリブレーションを行う
- ・ダンベルの重量をデジタル体重計で確認後、秤に吊して目盛りを合わせる
- ・人が体重計に乗って体重を確認後、秤にぶら下がって数値を確認する
- ・計測用ロープ、ナスカンの風袋を含めること
- ・吊り上げる位置は前方ハイキングストラップ用アイ 2 箇所とメインシート用カムリートを使用
- ・前後左右のバランスを取り、何回かハルを揺らし、静止した時の目盛を採用
- ・秤の針が目盛の中間にある場合は、少ない目盛を採用

(12) ハル重量の補正

クラスルール D3.1, 補足説明 26 バラストはハルの内側、通常センターボードケース周りかスウォートの台座にしっかりと固定する。テープで貼り付けるだけではダメ。レース期間中に動くことのないようにする。レガッタ中に、固定されたバラストのデジタル写真を撮る場合がある。

PartB

(1) クルーウエイト

乾いた軽装で計測すること。短パンとシャツのみに裸足が望ましい。

受付に調整済みの体重計があるのでクルーの体重を記録する。

事前に体重を計測する場合にも調整された体重計を使うこと。このときクルーの総体重が 130kg に近い場合はとくにその後の体重変化に注意すること。

(2) クルー体重不足分のバラスト

クルー体重不足分のバラストが必要な場合は、センターボードケース周りかスウォートの台座にしっかりと固定すること。

その他

ハル重量、クルー重量の補正バラストの考え方

ハルウエイト; 68kg 以上。不足分はバラスト積載。不足分はクルーウエイトで相殺できない。

クルーウエイト; 130kg 以上。不足分はバラスト積載。バラスト上限は 12kg。不足分はハルウエイトで相殺できる。

例 1 > ハル 65kg でクルー 120kg の場合、 $3+10=13\text{kg}$

例 2 > ハル 65kg でクルー 110kg の場合、 $3+12=15\text{kg}$

例 3 > ハル 70kg でクルー 110kg の場合、 $-2+12=10\text{kg}$

例 4 > ハル 70kg でクルー 120kg の場合、 $-2+10= 8\text{kg}$

艀装品の交換

テザークラスルール C.2.1.c には、計測後、レガッタ中の艀装品の交換について述べられている。基本的に、シート、ロープ、スパー、フォイル、ティラーなど全ての艀装品は、レース委員会の承認なしに交換できない。損傷、摩耗などの場合は交換できるが、その場合も必ず交換前に書面で申し出ること。これを怠った場合、資格剥奪となることがあるので注意する。損傷、摩耗などが危惧される艀装品はレガッタ前に交換しておくことが望ましい。

レース後の計測

レース後の計測は全てのレベルの艇の中から無作為に実施する。素早く簡単に行うために、スキッパーとクルーは計測員の指示の理解に努めること。

計測対象の選手はハーバーへ戻ったときに計測員に迎えられる。セイルは下ろしている場合もあるだろうが、ハリヤードに取り付けた状態でハーバーに戻る。スキッパーとクルーは常にボートのそばに居ること。ボートを直ちに調査計測場所へ運ぶこと。計測員はボートに触れ全ヶ所を調査することができる。計測員に求められた場合は手伝うこと。計測項目は日によって異なる。計測後に完全に解装されている場合もある。

決まった項目の計測に加え、目視調査を行い追加の計測をする場合もある。レガッタのチェックリスト上のいかなる項目でも不適合があればそのセッションの全レースのポイントを失う。その他の項目に不適合があればチーフメジャラーを含むメジャラー委員会にかけて判定を行う。更にレース委員会にかける場合もある。計測に関する全ての決定事項について上訴は認められない。

Tasar Measurement Checklist - Wakayama 2008

このチェックリストの Part A の項目は全日本選手権の 3 ヶ月以内に計測すること。
計測者は日本 Tasar 協会公認の計測委員に限る。Part B の項目は全日本選手権の受付時に計測する。計測後この Checklist を提出して、全日本のエントリーが完了する。

セールナンバー _____

スキッパー _____ クルー _____

A) 以下の項目は日本 Tasar 協会公認の計測委員が計測する。

- | | |
|--|---------------|
| (1) セール チェック | Yes / No |
| (2) フォイル チェック | Yes / No |
| (3) ウィスカーポール (2038mm max) | _____ mm |
| (4) フォアステー長 (4140 +/- 20mm) | _____ mm |
| (5) ハウンズデッキ長 (3720mm min) | _____ mm |
| (6) メインシートストラップ長 (240mm max) | _____ mm |
| (7) シュラウドプルバック長 (150mm max) | _____ mm |
| (8) ハウンズジブトップ長 (ダクロンセールのみ ; 115mm max) | _____ mm |
| (9) センターケース チェック | Yes / No |
| (10) トップマストスティフナー チェック | Yes / No |
| (11) ハル重量 (補正重り込みの重量; 68Kg min) | ハル _____ Kg |
| | 補正重り _____ Kg |
| | 合計 _____ Kg |
| (12) ハル重量補正重り | 場所 _____ |

計測者 _____ 計測者サイン _____ 計測日 _____

B) 以下の項目は全員本選手権の受付時に計測する。

- | | |
|---|-------------|
| (1) クルーウエイト | 合計 _____ Kg |
| (2) クルーウエイト補正重り ((1)+(2)-ハル重量相殺分) \geq 130Kg) | _____ Kg |

計測者 _____ 計測者サイン _____

スキッパーサイン _____

クルーサイン _____

宿舎・観光案内

1. 紀三井寺ガーデンホテルはやし

和歌山市紀三井寺（国道43号沿・紀三井寺入口）

TEL: 0734-44-1004（予約センター）0734-45-5151（ホテル直通）

<http://www.kimiideragardenhotel.com/hotel.html>

シングルルーム（40室）、ツインルーム（28室）、和室（34室）

ホテルよりセーリングセンターまで車で約10分。

ホテル専用駐車場有り：220台

館内に、天然温泉大浴場・露天風呂・レストラン・みやげ売店

別棟に直営コインランドリー有り

付近の観光：紀三井寺（徒歩約5分）、和歌山城・新和歌浦（車約10分）

2. 和歌山マリーナシティロイヤルパインズホテル

〒641-0014 和歌山市毛見 1517

TEL: 073-448-1111

FAX: 073-448-1112

<http://www.marinacity.com/hotel/index.html>

客室から和歌浦湾を一望できる優美なリゾートホテル。

ホテルよりセーリングセンターまで、徒歩約5分（ホテル専用駐車場有り）

和歌山マリーナシティ内の観光施設：

ポルトヨーロッパ：地中海の港町をモチーフにしたテーマパーク

黒潮市場：漁港直結の魚を買って、食べて、食のテーマパーク。

まぐろの解体ショー・シーサイドバーベキュー

黒潮温泉：天然紀州黒潮温泉。黒潮の海一望しながら天然温泉でゆっくりと。

その他の観光：海釣り公園、わかやま館、和歌山マリーナシティヨット倶楽部、

浜の宮ビーチ：和歌山マリーナシティの対岸。海水浴・潮干狩りなど。